Minami Alps city shokokai community magazine

アルピー通信

Vol.100 発刊100号記念

南アルプス市商工会　山梨県南アルプス市飯野2812　TEL.055-280-3730　FAX.055-280-3731
●発行人／小林 寛樹　●年10回発行　●協賛協力／株式会社 渡辺新聞店　南アルプス 林屋新聞店
http://www.minamialps-shokokai.jp

アルピー通信 発刊100号 記念対談

地域コミュニティ紙の果たす役割とは

（株）渡辺新聞店の渡辺次朗社長と南アルプス市商工会の小林寛樹会長が同席してライター・荻野由香の問いに答える100号記念特別対談―。

渡辺 次朗 ×　小林 寛樹

「わたなべしんぶんてん・にゅうす」（株）渡辺新聞店社長　「アルピー通信」南アルプス市商工会会長

「わたなべしんぶんてん・にゅうす」毎号部数8千部、累計部数115万部月1回発行。
「わたなべしんぶんてん・にゅうす」は、A4版フルカラーで白根、八田、芦安と若草地区の一部に毎月第3日曜日発行。

アルピー通信　毎号部数2万1千部、累計部数210万部、年10回発行。

地域コミュニティ紙発刊のきっかけ

荻野　地域コミュニティ紙を発行されるお二人に本紙100号を記念して「地域コミュニティ紙の果たす役割」についてお話し頂きたいと思います。まず地域コミュニティ紙を発刊されたきっかけからお願いします。

小林　平成15年、南アルプス市誕生に伴い、地域の5つの商工会が合併して南アルプス市商工会が誕生しました。しかし、合併当初は事業運営がスムーズにいきませんでした。そこで互いの情報共有が必要だということから、会員だけに配る「南アルプス市商工会だより」を制作するようになったんです。それが基になり合併3年後にアルピー通信と名前を変えて全戸配布を始めたわけです。名称のアルピーは、合併と同時に商工会がイメージキャラクターを全国公募して、採用となった大阪の方のアルプスとハッピーをかけた合成語（アルプス地域に幸せをもたらしていくという意味）でそのキャラクター誕生を契機に、商工会を広く知ってもらおうということからアルピー通信を始めたんです。

アルピー

渡辺　私共は明治43年から南アルプス市の北側のエリアで新聞店をしています。新聞をお届けするのが仕事ですが、私が商売を担い始めた平成12年頃から地域の方が載った新聞をパウチしてお届けするサービスを始めたところ、とても喜ばれて、こんなに喜んでもらえるならもっと何かしたいなと思って、現在も続く「南アルプス北部ニュース」という新聞記事をまとめたものを発行するようになりました。
それから3年ほど経って情報紙制作を手掛け、今も編集長を務めていただいてる市内在住の米山久登さんと知り合い、半年くらいの準備期間を経て「わたなべしんぶんてん・にゅうす」を発行し始めたのが経緯です。

紙面に込められた思い、視点とは

荻野　両紙とも発刊されて10年以上、定期的に発刊されていますが、どんな内容でどんな視点でまとめていられるのでしょうか。

小林　商工会は商工業者約2，000人を会員として、商工業者の経営安定と発展を主な業務として「商工会法」という法律により許可されている団体です。
その一方、地域活性化や地域住民の福祉向上を図ることも使命とする団体で全国各市町村に1，800の商工会が配置されています。
そうした団体ですので、商工業者だけでなく一般住民の関心も呼び起こすような記事内容を心がけています。
創刊号から2、3年は、実はすごい経歴と功績を残している個人、団体にスポットをあてた「南アルプス市にこの人あり」という記事を1面に掲載し、市民向けコミュニティ紙としての性格を前面にだしました。

アルピー通信、わたなべしんぶんてん・にゅうす創刊号

印象に残ったこれまでの記事とは

荻野　両紙とも人と人のつながりを大事にされていますが、印象に残っている記事や反響があった記事はどんなものでしょうか。

渡辺　印象に残っているのはチーム紹介の記事ですね、子どもたちの野球や駅伝、バスケットボール、ドッジボール、剣道などのチーム、大人ではよさこいのチームとか。
そこには家族やボランティアも携わっています。
営利ではなく、自らで運営していくのは難しいはずですが一生懸命、そのことに取り組まれている記事は反響もあり印象に残っています。
そうした記事を見て皆さんも自分もやってみようかなと思ったり、ちょっと活動がうまくいかないところも自分たちも頑張ってみようかとか、また、誰か

渡辺　小林会長の話に重なりますが、地域で地道に活動して成果をだしている方がいらっしゃいます。
例えば甲子園に出場した子がいましたが、それは野球能力が高かったからですまされがちです。
ところが実は大変な苦労を重ねていた。
そうした内実を知っていただく中で、地域の皆さんが元気になったり励みにしてもらえればという思いを込めて、地域の人や団体の活動をお伝えしています。
また、収益を目的としてない団体には広報として使っていただいたり、地元でのイベントや特産物なども枠をさいて掲載するようにしています。

司会進行　ライター
荻野由香
元山日新聞記者、「わたなべしんぶんてん・にゅうす」取材担当

を支えたいなと思ってもらえたりするとありがたいですね。そういう記事には力を入れたいと思います。

小林　一番印象に残っているのは平成24年5月に発刊した号ですね。3月11日に発生した東日本大震災を支援するために5月の1か月間、宮城県の海産物を中心に宮城県内の商工会より海産物を大量に仕入れてハッピーパークで販売したんです。県内外、市内市外問わず多くの人たちが来場され、売上金すべてを宮城県多賀城市商工会に寄贈させていただきました。一般住民の皆さんが大挙して賛同してくださり、東北復興支援に貢献できたという実感は今でも忘れることができません。それを縁に多賀城市商工会とは深い絆が生まれ、現在も交流しています。

ハッピーパーク

地域住民に対する紙面の役割とは

荻野　地域コミュニティ紙が地域住民に果たしている役割はどのように考えていらっしゃいますか。

小林　地域コミュニティで大事なのは地域住民同士が相互協力し合い、住んでよかった住みたい地域づくりをしていくことにあると思います。そのためには地域住民に生の情報を知らせるなど何らかの情報を発信していくことが求められます。

IT情報化社会の今は情報がパソコン、スマホなどで入ってきます。

一方、コミュニティ紙は、アナログ世界の紙媒体であり住民同士の情報交換発信の場として、実は最も大切な媒体機能を持っていると思います。

それにデジタル化されればされるほどアナログの分野は大事なんですね。

人と人が理解し合うには顔を合わせるのが一番であるようにアナログは必要なんです。

コミュニティ紙はそうした人をつなぐ媒体としての役割も求められているように思います。

渡辺　デジタル、アナログとも大事なように、ローカルがなければグローバルもありません。

その観点からも地域に居ながらもなかなか知り得ないことを知っていただいて地域の皆さんに元気になって貰えるようにしたいですね。

その役割を果たそうとしていますが、効果測定ができないのは悩ましいところです。

迷いながらも地域がいい方向に向かっているという確信が持てるようにこれからも力を注いでいきたいですね。

求められる今後のあり方とは

荻野　アルピー通信100号という記念すべきことにあたり、今後、地域コミュニティ紙が果たす役割をどうお考えですか。

小林　市内には目的を持った数多くの団体やグループ、また個人が日々活動していますが、これらの団体やグループをつなぐ横の連携がとれていないのが現実です。

それを果たしていくのがアルピー通信の役割だと感じています。

実際、このことを実験的に導入しています。具体的には警察署、保健所、消防署、図書館、美術館など市の広報紙には掲載しきれない内容を積極的に取り上げているんです。

また、市内にある大手進出企業などの会社訪問記事などを定期的に掲載し、地域住民に企業情報などもPRしています。

アルピー通信を通じ、商工会が地域の中核団体であることを理解していただけるよう、地域活性化に貢献していきたいと思います。

渡辺　これまで続けてきたことを深めていきたいと思います。

「取材先探し困りませんか」とよく言われたりしますが、まったく困らないんです。

地域にはいろいろな方々がいらっしゃいますので、逆に掲載のタイミングを逸しちゃう機会があるくらいです。

小林会長もおっしゃられましたが、そういった方たちをマッチングしていきたいですね。物や人の交流であったり、こういったサークルに入ってみようと思ってもらえるような仕組み、仕掛けを少しでも作っていければいいなと思っています。

人と人をつないで、それがさらに発展していったらいいなと思い、同じ町の中でアルピー通信さんとはまた違う次元で役割を果たしていきたいですね。

第51回商工会全国大会にて全国の代表として受賞

フルーツプロジェクト事業 伊勢神宮へ「貴陽」を奉納

荻野　地域の隠れた話題や暮らしにすぐ反映できる情報を得られるところが地域コミュニティ紙ならでは魅力だと再確認させていただきました。

ネットの時代ですが、紙媒体ならではの魅力が生きた両紙を読ませていただくことを今後も楽しみにしています。

南アルプス市商工会　広報紙ヒストリー

イベント　ピックアップ

1号 南アルプス市商工会合併

10号 サービス店会スタート11/3

13号 芦安温泉ロッジオープン

13号 ハッピーパークオープン

24号 全国1位共済

13号 第1回さくらんぼ祭り

年	月	号数	出来事
平成15年	5月	1号	南アルプス市商工会合併
	7月	2号	マスコットキャラクター募集
	11月	4号	キャラクター決定10/7(池永一宏氏　大阪府)
平成17年	10月	10号	サービス店会スタート11/3
平成18年	6月	13号	アルピー通信に名称変更 芦安温泉ロッジ&ハッピーパークオープンH18.4.1 第1回さくらんぼ祭り6/17.18
平成20年	5月	24号	商工貯蓄共済加入実績全国1位　この年から5連覇
平成23年	5月	44号	東日本義援金募集
平成24年	5月	54号	東北物産展復興支援セール5/1～5/31
平成27年	1月	82号	全国商工会準グランプリ受賞
平成28年	5月	91号	市住宅リフォーム工事補助スタート

44号 東日本義援金募集

54号 東北物産展復興支援セール

91号 市住宅リフォーム工事補助スタート

82号 準グランプリ受賞

アルピー通信

南アルプス市にこの人あり!!

創刊号から20号まで「南アルプス市にこの人あり!!」という特集記事で、表紙に登場していただいた個人、団体を紹介します。

平成18年6月発行

創刊号 Vol.1
高級フルーツ"貴陽" 20年かけて新品種の開発に成功!
高石 鷹雄さん

大玉で糖度と酸味のバランスがとれた旨みたっぷりのスモモ「貴陽」。スモモの最高級品として、市場からも消費者からも高い人気を得ています。その貴陽を生み出したのが、古くからスモモの産地として知られる南アルプス市湯沢で、果樹農家を営んでいる高石さんです。

平成18年8月発行

Vol.2
フィリピンの貧しい子どもを学校へ 草の根の援助活動を続けて20年
加賀美山法善護国寺名誉住職
今村 文匡さん

地域での活動はもちろん、フィリピンの子どもたちへの学資援助や、図書館建設・養豚事業の普及などの活動を、20年にわたり続けています。

平成18年10月発行

Vol.3
南アルプスとともに生きて40年 貴重な自然や山岳文化を後世へ
南アルプス芦安山岳館館長
塩沢 久仙さん

2003年3月に開館した「南アルプス芦安山岳館」の立ち上げから取り組み、会館当初から館長として、南アルプスの山岳文化の発掘と研究、自然保護や安全登山に取り組んでいます。

平成18年12月発行

Vol.4
空き缶回収し福祉の一助に 今日も自転車で地域を奔走
了泉寺住職
渡辺 顕誠さん

365日、雨の日も風の日も休むことなく自転車に乗って、地域のあちこちを回り空き缶を回収しています。回収した空き缶は福祉団体に寄付しています。

平成19年1月発行

Vol.5
対人地雷除去システムを独自開発 世界で除去活動と自立支援を展開
山梨日立建機株式会社 社長
雨宮 清さん

11年前、対人地雷の除去に立ち上がり、独自に地雷除去システムを開発。自ら各国で地雷除去活動を行い、その国の復興にまで力を注いでいます。

平成19年5月発行

Vol.6
"山梨の風と光り"に魅せられて この地が育んだ自然を描き続ける
画家
近本 太平さん

南アルプス市の麓、筑山にアトリエを構える画家・近本太平さんは、初めて山梨を訪れた時にこの自然に魅せられ、そのまま住んで25年。山梨の風と光りを描き続けています。

平成19年7月発行

Vol.7
1人でも多くの 目の不自由な方に光を
山梨県アイバンク事務局長
小松 弥太郎さん

14年間にわたりアイバンクの活動をしています。その活動内容はアイバンク登録への啓蒙運動をはじめ、ドナー発生時の対応や提供して下さった方の通夜、告別式への出席など多岐にわたっています。

平成19年9月発行

Vol.8
歌には不思議な 力があるんですよね
埴原 美枝子さん

合唱人生のスタートとなった白根巨摩中学校時代の経験は、当時の生徒や父兄にとっても大切な経験となったようです。しらねフレンドコーラスは当時の教え子の父兄が集まって作ったグループで、埴原さんと父兄の皆さんとの絆は現在まで続いています。

平成19年11月発行

Vol.9
山や川は教師 子どもたちに もっと自然に触れてほしいね
名取 栄一さん

生まれ育った南アルプスの自然をこよなく愛し、その山や川を見守り続けている名取栄一さんは、約20年にわたり県森林保全巡視員や県鳥獣保護員として活躍し、現在も県の緑のインストラクターを務めるなど、言わば南アルプスの自然の番人。

平成20年1月発行

Vol.10
自分で作った凧が何百メートルも 大空を舞うなんて夢がありますよね
甲州かるた凧保存会顧問
山本 武夫さん

甲州凧の制作に携わって40年以上。旧甲西町江原にある工房には、武田信玄をはじめ戦国時代の武者絵が描かれた色彩鮮やかな凧が部屋いっぱいに飾られていて、迫力満点。それらすべてが山本さんの手作りで、これまでに作った凧は数千枚にも上るそうです。

平成20年3月発行

Vol.11
みんなで勝ち取った全国優勝 選手1人1人の思いが結果に
八田中駅伝部

昨年12月に山口県で開催された全国中学校駅伝大会男子の部で、八田中駅伝部が県勢初の優勝を飾りました。一昨年の大会で初出場3位という好成績を残し、出場2回目で優勝という快挙を成し遂げた八田中駅伝部。今回は見事栄冠を手にしたその選手と監督を紹介します。

Vol.12
河川敷を彩る紫紺のアヤメ この景観をみんなで守っていきたい
南アルプス市アヤメを育てる会

平成20年5月発行

数万株ものアヤメを育て、守っていくのはとても大変なことですが、代表を務める斉藤一寿さんは「真夏の炎天下での草取りなど、確かに手の掛かるキツイ作業も多いですが、満開の時の美しさは感動的ですからね。それを思い浮かべると頑張れます」と笑顔でいいます。

平成20年7月発行

Vol.13
地域のつながりによって守られてきた伝統文化 これからも切子と六角堂の例祭でまちづくりを
沢登切子保存会

6月のある日の放課後、豊小学校の教室で、児童たちが細かい図柄と格闘していました。それは沢登地区に伝わる伝統文化の切子で、毎年10月13日に六角堂で行われる例祭に奉納展示されるそうです。この小学校には切子クラブがあり、20年以上にわたりその指導に当たっているのが沢登切子保存会です。

平成20年9月発行

Vol.14
No football, No life
フォルトゥナ・サッカークラブ 代表
皆川 新一さん

1998年ドイツから帰国した皆川さんは、ドイツで学んだサッカーの知識を子どもたちに還元したいという思いからフォルトゥナ・サッカークラブを設立しました。教え子には、あの中田英寿を持つ皆川さんは、設立後7年で上今諏訪に専用グラウンドを取得し、県内外の有力校やJリーグのユースチームへ進める優秀な人材を輩出しています。

平成20年11月発行

Vol.15
山梨県大会優勝! イケメン消防団櫛形7部 全国大会出場!

消防団山梨県大会ポンプ車操法の部で見事に優勝を果たし、県代表として全国大会出場を決めた櫛形分団第7部の皆さんです。

平成21年1月発行

Vol.16
芦安の新聞少年・少女を 知ってるかい?

芦安の子どもたちは、みな中学校に入学すると新聞配達をはじめます。配達代は積み立てられ、修学旅行の費用に充てられます。この新聞配達はもう何年も前から代々受け継がれてきました。

平成21年3月発行

Vol.17
山梨県大会優勝
ドッジボールチーム・ツナマヨネーズ

2003年に若草南小学校の6年生を中心に結成されたドッジボールチーム、その名もツナマヨネーズ! 春の全国大会山梨県予選で優勝し、3月1日に開催される関東大会に山梨県代表として出場することが決まりました!

平成21年6月発行

Vol.18
レッツ・ダンス! どじょっこの会
踊り、笑い、そして感動へ
どじょっこの会

平成15年に商工会女性部の役員が中心になって結成された「どじょっこの会」。現在メンバーは11名。県内では珍しい「どじょうすくい」の愛好会です。

平成21年9月発行

Vol.19
ロマンティック・マザーズ・スタイル × 南アルプス市商工会
ギャルママ子育てサークル
ロマンティック・マザーズ・スタイル

2007年発足のロマスタ。現在メンバーはママと子どもたち、合わせて総勢130名!南アルプス市小笠原商店街にある新津幸代表の祖母の生家(築100年の古民家)をメンバー専用の育児サロンに改装して活動しています。

平成22年1月発行

Vol.20
第49回山梨県吹奏楽コンクールで みごと金賞を受賞!
巨摩高校吹奏楽部

県吹奏楽コンクールでの金賞受賞は、36年ぶりの快挙でした。自由曲「三つのジャポニスム」と課題曲「マーチ 青空と太陽」を演奏し、Aパートで金賞受賞、西関東大会出場を果たしました。

アルピー通信 発刊100号記念 特別プレゼント企画!

チャレンジして 賞品総額 50万円 賞品をGet !!

アルピー通信発刊100号を記念し、商工会では市民の皆様に特別プレゼントを企画いたしました。アルピー友達イラスト、アルピー川柳、ウルトラクイズなど賞品総額50万円!! 多数の皆様の応募をお待ちしております。

Present A アルピーくんのお友達イラスト 募集

アルピーくんにこんなお友達がいたらいいな〜!
そんなお友達をイラストにして賞品をゲット!

☆応募方法:商工会窓口&商工会HP http://www.minamialps-shokokai.jp/にて申込用紙を入手し、ご自身の作品をH29.4.30(日)までに商工会必着!
☆参加対象:どなたでもOK! ☆審査:イラストレーター・商工会役職員により審査

- **最優秀賞** 東京ディズニーリゾートペアチケット(1組分) ＋ 旅行ギフト券(10,000円分) ＋ さくらんぼ1kg
- **優秀賞** 東京ディズニーリゾートペアチケット(1組分) ＋ 旅行ギフト券(5,000円分) ＋ さくらんぼ800g
- **特別賞** 東京ディズニーリゾートペアチケット(1組分) ＋ さくらんぼ 500g
- **入選(10名)** ハッピーパーク or 田舎カフェオーチャード 利用券(3,000円分)

さらに ＋ 2017ハッピーパーク さくらんぼ祭り (並ばずに参加可能) 種飛ばし大会 ファストパス券

☆発 表:アルピー通信102号(H29.6.1発刊)
☆賞品授与:ハッピーパークさくらんぼ祭り 2017 ステージにて授与 ※H29.6.4(日)を予定

Present B アルピー川柳 募集

フルーツ川柳に応募し、旅行券をGet !!

●テーマ:南アルプス市特産フルーツ(さくらんぼ・桃・すもも・キウイ・柿など)

☆応募方法:
商工会窓口&商工会HP http://www.minamialps-shokokai.jp/にて申込用紙を入手し、ご自身の作品をH29.4.30(日)までに商工会必着!
☆参加対象:どなたでもOK! ☆審査:文芸評論家・商工会役職員により審査

- **最優秀賞** 旅行ギフト券(30,000円分) ＋さくらんぼ 1kg
- **優秀賞** 旅行ギフト券(20,000円分) ＋さくらんぼ 800g
- **特別賞** 旅行ギフト券(10,000円分) ＋さくらんぼ 500g
- **入選(10名)** ハッピーパーク or 田舎カフェオーチャード 利用券(3,000円分)

☆発 表:アルピー通信102号(H29.6.1発刊)
☆賞品授与:ハッピーパークさくらんぼ祭り2017 ステージにて授与

Present C 南アルプス市 もの知りウルトラクイズ!

クイズに答えて豪華賞品をGETしよう!

①アルピー通信発刊100号記念を迎えましたが、"アルピー"とはどんな意味?
ヒント:一面の小林会長と渡辺社長の対談に出てるかも
②南アルプス市はスモモの収穫量が日本一を誇っていますが、スモモの中で世界一重いスモモとして、ギネス登録されている品種は?
③南アルプス市には、3,000mを超える山々が連なっていますが、日本で第2位の高さの山の名前は何?
④南アルプス市は、旧芦安村、八田村、白根町、若草町、櫛形町、甲西町の6ヶ町村が合併した市です。合併した年は平成何年?
ヒント:市のホームページを見てね
⑤"県内に春を告げるお祭り""売っていないのはネコのタマゴと馬の角"と言われ、毎年2月に10万人以上の来場者でにぎわうお祭りは何?
⑥南アルプス桃源郷マラソンは、毎年7,000〜8,000人位の多数ランナーが走る有名な大会です。この大会には、毎年有名なランナーがゲストとして市民と一緒に走ってくれますが、今年のゲストランナーは誰?
ヒント:市のホームページを見てね
⑦南アルプス市はブドウの産地としても有名ですが、近年皮ごと食べられるグリーン色をした大粒のブドウが人気になってきましたが、何という名前?
ヒント:○○○○マスカット

☆応募方法:商工会窓口&商工会HP
http://www.minamialps-shokokai.jp/にて
申込用紙を入手し、ご自身の回答をH29.4.30(日)までに商工会必着!
☆参加対象:どなたでもOK! ただし賞品をハッピーパーク窓口にて受け取れる方
☆審 査:クイズ全問正解100名! ※正解者多数の場合は抽選

全問正解者から抽選100名様

南アルプスの実ドレッシングセット (540円×2本入) ＋ハッピーパーク利用券(500円分)

☆発 表:アルピー通信102号(H29.6.1発刊)
☆賞品授与:ハッピーパーク窓口での賞品授与にて発表とさせていただきます。

プレゼント企画お問い合せ
〒400-0222 南アルプス市飯野2812
TEL:055-280-3730 FAX:055-280-3731
アルピー通信 担当まで